Japan International Food and Aquaculture Society

E-Mail: jifas@sage.ocn.ne.jp URL: http://www.jifas.com

2010.11.25 No.0139

〒302-0131 茨城県守谷市ひがし野2-1-1011 Tel& Fax:0297-44-4487

ノルウェーの水産諸事情

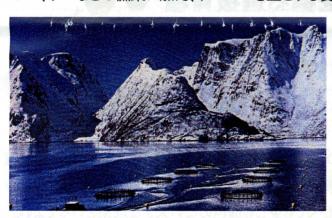
(水産の21世紀・京都大学学術出版~ベルゲン大学生物学部 上坂裕子)

私は現在ノルウェーに住んでいるのだが、まず手短に私とノルウェーとの出会いをお話ししたい。海外へ 出てみたいという思いが昔からあった私がノルウェーに興味を持ったきっかけは、ポップグループのA-haが ノルウェー出身であったこと。その後、ノルウェーにはフィヨルドや白夜があること、社会福祉が整っているこ と、女性の社会進出率が高いことなどを知り、あこがれが強くなった。

ノルウェーは漁業国なので、水産学科に進めばノルウェーに行くことが出来るかもしれないと考えた大学 受験で、運よく水産学科に入ることが出来た。

そして恩師の田中克 先生のおかげで修士課程の間に一年間留学することができ、その間に知り合った ノルウェーの彼と結婚し、現在は2児の子育てをしつつ、週3日の研究職を続けている。働く女性が働き易 い環境が整っていることを肌で感じているわけだが、その理由を幾つかあげると、①育児休暇を有給で取 れること、②父親も育児休暇をとることが義務付けられており、③保育園や幼稚園に入りやすいこと、そして なんといっても④残業は殆どなく、定時に帰宅できることがあげられる。そして、父親も定時に帰宅できるの で、共働きしやすく、家庭で過ごす時間を大切にしている。

さて、ノルウェーは日本同様に国土の大半が海に面しており、昔ながらに漁業国である。現代では、石油、 天然ガス関連が主要輸出産業だが、漁業は産業として重要な位置を占めている。今までの伝統的なタラ、 ニシン、サバなどの漁業に加え、サーモンを主とする養殖魚の輸出量も増加の一途である。近年はチリのサ



▲ ノルウエーのサケ養殖場

ーモン養殖が疾病により大きな打撃を受けて おり、そのために、世界的な不況にもかかわらず ノルウェーサーモンの需要はさらに増している そうだ。2007年には、養殖魚の生産量が天然 魚を上回るようになった。

その一方、サーモンに続く養殖対象魚として、 オヒョウ、ターボットなどが挙がってきたが、ここ 数年はタラにかなりの注目が集まっていた。